

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部

福祉部

課

高齢福祉課

施設名称	〔20〕 東京都台東区立ケアハウス松が谷					
指定管理者の名称	社会福祉法人東京援護協会			指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	老人福祉部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕他					
(2)類似施設の管理実績	なし					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入5,219,199,405円,歳出4,959,097,036円,収支差額260,102,369円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区松が谷4-4-3					
(2)設置目的	日常生活の維持は可能であるが、高齢等のため独立して生活するには不安がある高齢者に対し、食事の提供や生活相談等のサービスを行うことで、高齢者が安心して自立した生活が継続できるよう支援する。					
(3)利用者	区内在住の60歳以上の高齢者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 4,671.09㎡のうち3,336.63㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階 駐車場、ボランティア室、浴室(機械浴、一般)、食堂、相談室、居室など					
(6)人員体制	6名 内訳...施設長(1)、事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤1、非常勤1)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	栄養士の献立管理による食事(3食)提供、社会福祉専門職による各種相談、趣味活動及び季節行事の支援、外部介護保健サービスの導入と対応、年間防災訓練の実施、近隣地域との交流					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	95,055,000	95,953,000	95,953,000	98,253,000	98,948,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	12,000
	管理経費	95,055,000	95,953,000	95,953,000	98,253,000	98,960,000
決算	委託料	95,055,000	95,953,000	95,953,000	98,253,000	98,298,412
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	698,051	34,800	21,981	9,725	44,627
	管理経費	95,908,041	97,365,440	97,336,464	98,917,429	98,343,039
	収支	-154,990	-1,377,640	-1,361,483	-654,704	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
入所定員	人	38	38	38	38	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度	
利用率	%	90	90.9	94.0	84.7	
延べ入所者数	人	12,500	12,608	13,046	11,781	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み					
年間行事としてバスハイクを開催し、外出機会の少ない入居者に外出機会を提供したことが好評を得るなど、利用者の満足度を高める試みを行っている。また、平成27年度より経営改善を検討する内部委員会を設置し、全職員が年2回省エネ等についての提案をするなど積極的な取組みを行った。					
8. 評価項目		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [2] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [3]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数等の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4)収入支出 平均 [2.5]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [3]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[3] [2]	
9. 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評価	説明			
(1)事業の運営	A	年間行事としてバスハイクや映画会を開催するなど、入居者に楽しんでいただける機会を多く提供しサービスの向上に努めた。また、入居者の高齢化に伴い、ケアマネジャー等と連携して入居者が適切なサービスが受けられるように支援を行った。			
(2)施設の維持管理	A	施設電灯のLED化や節水装置の取付等の省エネや環境に配慮した取組みを施設として行っている。			
(3)利用者の満足度	A	地元町会の方向けに給食試食付きの施設見学会を開催するなど、地域の方に施設を知ってもらうための取組みを行っている。また、利用者満足度調査の結果も85%以上の方が「満足」と回答するなど好評であった。			
(4)収入支出	S	経営改善を検討する内部委員会を新規に設置し、年2回全職員が省エネに関する提案を提出するなどの積極的な取組みを行い、収支を改善させた。			
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		妥当	入居者の高齢化に伴い、ケアマネジャー等と連携して支援を行うなど、適切な施設運営を行っている。また、経営改善を検討する内部委員会を新規に設置することで、全職員の意識が高まった。		
11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応					
引き続きバスハイクや映画会等の入所者に楽しんで生活していただくための行事を充実させる試みを行うなど、サービスの向上に取り組んでいく。また、経営改善に対する取組みも継続していく。					